



渡辺 綾 「月の山～星降夜の灯～」

山と里のいろいろ展

渡辺綾、吉田祐子、2人の画家による 山と人、里山の風景を描いた作品

7月17日(金)～
9月13日(日)



吉田 祐子 「春風」



吉田 祐子 「となりに」

◆ ギャラリートーク

「山を見つめ、山に見守られ」 画家:渡辺綾、吉田祐子 8月23日(日) 13:30から

場所: 伝承館特別展示室 料金: 無料 (別途入館料) ★要電話予約

酒田市松山文化伝承館 山形県酒田市字新屋敷36-2

開館 9:00～16:30 (入場は16:00まで) 休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

入館料 一般370円 / 高校・大学・専学生260円 / 小・中学生110円 ※土日は小中学生無料

※20名以上団体割引あり (一般290円 / 高校・大学・専学生220円 / 小・中学生90円)

電話 TEL 0234 - 62 - 2632

ホームページ <http://matuyama-net.com/rekishikoen/denshokan/>

メール densho@matuyama-net.com

SNS facebookとInstagramで「松山文化伝承館」を検索

「今日は鳥海山が綺麗に見えましたね。」

お天気の話と同じ様に山の話が挨拶に出てくるのが地方での生活です。
春は山菜、夏は登山、秋は紅葉、冬スキーと、山は恵みであり、楽しみのひとつです。
山と共にある生活は農家だけでなく、会社勤めの人と同じです。
私たちは「山に見守られている」様な安心感の中で暮らしています。
そういった「ぬくもり」が感じられる、お二人の作品をお楽しみ下さい。



渡辺 綾 「月の山 ~みちゆきびとの記憶~ (一部)」



渡辺 綾 「いのり、つくろい」

渡辺 綾

1986年 宮城県仙台市に生まれる
2005年 宮城県宮城野高校 美術科 卒業
2012年 東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 卒業
2014年 東北芸術工科大学 大学院 芸術文化専攻 修了
大学卒業後は鶴岡市で5年間を過ごし、
現在は宮城県仙台市在住。

山形の山岳信仰から着想を得て「山の神」や
「山と人々の関係」を描いてきた。
今は身近な風景を題材に、変化する社会の中で
自分を繋ぎとめるもの、自分の居場所を確かめるもの、
心のよりどころとしての「山」を描こうと試みている。



吉田 祐子 「風景標本13」

吉田 祐子

1987年 埼玉県に生まれる
2006年 本庄第一高等学校 普通科 芸術コース 卒業
2010年 東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 卒業
2012年 東北芸術工科大学 大学院 芸術文化専攻 修了
大学卒業後は鶴岡市で4年間生活する。
現在は天童市の里山に暮らしながら創作活動や
学童保育の仕事に携わる。

子どもの頃から山や里の風景を描くのが好きだった。
足もとの植物、生き物、人間、人がつくりだしたもの、
それら、小さな存在が集まって地域の風景が作られる。
自然と人間が懸命に関わり合いながら生きてきた姿が
投影された風景の魅力を作品で表現している。



吉田 祐子 「ふりかえれば」

◆ 同時開催

真下記念室「最上川Ⅱ」

◆ 常設展示

「藩政時代の松山」

「郷土の偉人たち」

◆ 酒田駅からのバスの場合

「酒田駅前①のりば」より
「山寺川先行き」乗車
「松嶺新町」下車(所要時間約40分)
※「松嶺新町」バス停より
松山文化伝承館まで徒歩5分

◆ 自動車の場合

JR余目駅より車で10分
JR酒田駅より車で30分
庄内空港より車で30分
日本海東北自動車道
「酒田I.C.」より車で30分

